

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- 第 47 回通常総会報告
 - ・ 第 47 回通常総会議事録
 - ・ 総会資料
- 第 47 回通常総会後の懇親会報告
- 2024 年度 新任者教育セミナー報告
- 大環協環境測定技術事例発表会 交流講演
- 「環境計量証明事業実態調査」報告会&懇親 BBQ
- 災害時相互応援協定への加入について
- 2024 年度 役員の役割分担について
- 新役員挨拶
- 関係機関・団体の動き
 - ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・ 千葉県環境計量協会
 - ・ (一社)日本環境測定分析協会
- 東環協からのお知らせ
 - ・ 2024 年度 主要行事予定
 - ・ 事務局からのお知らせ

第 47 回通常総会報告

2024年5月8日(水)、第47回通常総会がアルカディア市ヶ谷4階「鳳凰」で開催されました。来賓には、(一社)日本環境測定分析協会 参事 小林 秀司様にご臨席賜りました。正会員 25 社の皆様にご出席いただき、20 社の委任状と合わせて成立の定数を満たしていることから、定刻の 17 時に木村副会長が総会の開会を宣言しました。

会則 22 条に則り、議長には平賀会長が選出され、五十嵐副会長により昨年度の事業報告及び収支決算報告並びに今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、第 1 号議案から第 5 号議案まですべての議案が承認されました。

その後、今総会をもって東環協の理事を退任される五十嵐副会長及び池田理事より退任のご挨拶をいただきました。ご両名には長年にわたり当協会の理事として多大なる貢献をしていただきましたことを感謝いたします。

(小林 秀司様、五十嵐 鋼様、池田 達也様の役職は開催時のものです)

東環協 平賀会長の開会挨拶



平賀会長

只今、ご紹介に預かりました会長の平賀でございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙の中、多数の正会員および賛助会員の方にご出席頂き誠に有難うございます。また、来賓と致しまして(一社)日本環境測定分析協会参事小林秀司様にご列席賜り誠に有難うございます。

この一年間での当協議会の活動を振り返ってみますと従来の事業の延長に加え新たな事業に取り組みました。新たな事業としては働き方改革、業務効率に係るセミナーの実施及びごつくばらんな情報交換を目的としたバーベキューイベントを開催しました。セミナー講師の方にも参加して頂き、他の業界の気になる情報についても聞くことが出来ました。また、技術研修会においては環境省の方をお招きし、有機フッ素化合物の現状及びこれからの方向性について講演をして頂きました。東京都環境計量協議会が目指す未来を見つめて、ほんの一步目かもしれませんが走りだせたと考えています。

従来の事業の延長としては、検査業務における適正な受注価格の確保に向けた取り組みです。委託業務における過当競争による低価格化が懸念されており、この部分に当協議会としてメスを入れなければと考えました。環境計量業界に当てはめれば大部分を占める人件費の確保が重要と考え、適正な人件費確保のために「最低制限価格等を導入することが出来ないか」「そのためにはどのような公的な資料を用いて示すことが出来るか」などの検討を進めています。この点は、当協議会の今後の課題と捉え行動に移してまいります。

これより第 47 回の通常総会におきまして、2023 年度の事業報告と収支決算ならびに 2024 年度事業計画案と収支予算案についてご審議頂くわけですが、皆様の活発な意見、ご討議をお願いしたいと思います。何卒、よろしくお願い致します。

簡単ですがご挨拶とさせていただきます。



《総会の様子》

東京都環境計量協議会
2024年度（第47回）通常総会
議事録

日時：2024年5月8日（水） 17:00～17:30
場所：アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」（東京都千代田区九段北4-2-25）

出席者：45社（うち、総会当日までに到着分の委任状 20社）

木村副会長が17時00分、正会員総数59社中45社の出席があり、会則第19条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に平賀会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、帝人エコ・サイエンス(株) 塚本 篤氏と（一財）広島環境保健協会 野田 憲弘氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議 事

1. 第1号議案「2023年度事業報告承認の件」及び第2号議案「2023年度収支決算報告承認の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した。引き続き、小柳監事が2023年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「2024年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「2024年度収支予算（案）審議の件」について


五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

3. 第5号議案「新役員選任の件」について

本年度は役員改選の年であり、五十嵐副会長より立候補者名簿に関する説明があった。その後、第5号議案について審議した結果、異議無く承認された。

以上で第47回通常総会の議事が終了し、17時30分、木村副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上
議 長 平賀 積 善  印

議事録署名人 塚本 篤  印

議事録署名人 野田 憲弘  印

2024年度

第47回

総 会 資 料

東京都環境計量協議会

議 案

- | | | |
|-----------------------|--------|-------------|
| 第 1 号 議 案 | 2023年度 | 事業報告承認の件 |
| 第 2 号 議 案
(監査結果報告) | 2023年度 | 収支決算報告承認の件 |
| 第 3 号 議 案 | 2024年度 | 事業計画（案）審議の件 |
| 第 4 号 議 案 | 2024年度 | 収支予算（案）審議の件 |
| 第 5 号 議 案 | | 役員選任の件 |

はじめに

春暖の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より当協議会の事業活動につきまして、多大なご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、国内春闘では活発な賃上げ要求が行われ、現段階で賃上げ率として5%を超え、1991年以来、33年ぶりの5%を超えるとの報道がありました。しかし、環境計量業界においては、まだまだ、上昇する経費を価格に転嫁出来ず、賃上げについても賃上げ率5%を超えるような賃上げがスムーズに実施出来ない現状があります。しかしながら、国内の経済発展と環境リスクのバランスの中で深刻化する地球温暖化対策としての脱炭素及びペーパーレス化、デジタル化促進、廃棄物行政における資源循環化の推進のような環境計量業界において新しい方向性が数年前より示されています。このような流れに関連する設備投資及び事業が経済をけん引することを期待しています。

当協議会における今年度の事業活動は、次世代の環境計量技術者のプロフェッショナルを創出するための教育事業に重点を置いて、後述の事業活動報告にありますように新任者教育セミナー、環境測定技術事例発表会ならびに技術研修会等の事業展開を図りました。また、新しい試みとして情報の活用をテーマにした業務系勉強会とセットで懇親会及び活発な意見交換を目的とした、自然のやわらかな風を感じながらのバーベキューの実施。技術研修会においては環境省による有機フッ素化合物の現状と今後の方針及び方向性をテーマにした研修会等、今までと違った目線でのイベントを企画してまいりました。

このような企画運営において各担当理事の方々には多大なお骨折りを頂きましたが、その甲斐もあり一定の評価を頂戴できたものと自負しております。当執行部と致しましては、昨年度の経験を活かして引き続き益々の会員皆様の連携を深めて行き、「未来志向」、「発信力」をテーマに会員の皆様の交流及び若手技術者の育成事業に注力して参りますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

[第1号議案] 2023年度 事業報告承認の件

2023年度 事業報告

2024年3月31日現在の会員数及び役員は次のとおりです。

(会員数)

正会員 59社 (入会1社 退会1社)

賛助会員 19社 (退会2社)

合計 78社

(役員)

会長1名、副会長2名、理事6名、監事2名

1. 会議の開催

(1) 総会 2023年度(第46回)通常総会

第46回通常総会は、2023年5月9日16時30分よりアルカディア市ヶ谷4階「鳳凰」にて、コロナウイルス感染防止対策を行いながら対面での開催としました。

開催日時：2023年5月9日(火) 16:30~17:10

開催場所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

出席者：正会員45社(委任状22社を含む)

(2) 理事会

協議会運営のため、全役員による理事会(リモート参加を含む)を開催しました。

理事会：5回開催

(2023年5月9日、7月7日、10月24日、12月5日、2024年2月7日)

(3) 委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催しました。

2. 事業活動

当協議会の目的を達成するため、セミナー、発表会、研修会などの各種事業を企画、開催しました。

(1) 技術関係

① 新任者教育セミナー

『新任者教育セミナー』は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、過去3年間オンライン方式で開催してきましたが、2023年度は会場参加とオンライン併用のハイブリッド方式を採用しました。今年度も首都圏環協連(東環協、埼環協、神環協、千環協)合同で、(一社)日本環境測定分析協会との共同により開催することができました。

開催日時：2023年6月16日(金) 10:00～17:50

開催方式：(一社)日本環境測定分析協会本部 2F 会議室

会場参加及びオンライン(YouTube 配信、及び ZOOM 会議方式)

参加者：110名(うち、東環協：11社28名)

・講義1 (10:45～12:00)

「環境計量の仕事とは」

講師：津上技術士事務所 津上 昌平 氏

〔概要〕

最近の環境規制物質として「海洋プラスチック問題」が取り挙げられました。また、環境関連資格取得の勧めとして、環境計量士、作業環境測定士、公害防止管理者、臭気判定士、土壌汚染調査技術管理者、環境測定分析士についての受験資格や難易度などに加えて、試験問題例が紹介されました。

・講義2 (12:50～14:00)

「労働安全衛生」

講師：イー・サポート高円寺 菅原 昇 氏

〔概要〕

労働安全衛生には、労働者が入社してから帰宅するまでケガや事故に遭わないための知識が記されていました。講義では、労働安全衛生に関して、受講者に特に意識していただきたい6つの要点についての詳しい解説がありました。

・講義3 (14:10～15:30)

「精度良い測定のために」(サンプリングの基礎、化学分析、機器分析)

講 師：小池技術士事務所 小池 満 氏

〔概要〕

環境計量において、サンプリングは極めて重要である事や機器分析は、装置に不具合があっても測定値が得られてしまう場合もあるため、分析装置の原理・構造を正しく理解する必要があります。サンプリングに係る規格やマニュアル、サンプリング器具の使用法や特徴の紹介、参照すべき規格や分析機器の原理・構造についての解説がありました。

・講義4 (15:40～16:40)

「精度良い測定のために」(データの取扱いと測定値の管理)

講 師：村井技術士事務所 村井 幸男 氏

〔概要〕

実験データは必ず誤差を伴うものであり、「系統誤差」と「偶然誤差」に大別されます。環境測定分析においては、測定結果を有効桁数で表す場合に JIS Z8401 「数値の丸め方(規則 A)」に従い丸める。データの統計的処理方法や精度管理、分析値の不確かさなどについても詳しい解説がありました。

【受講者アンケート】

新任者教育セミナー終了後の Web アンケートでは、36名の受講者から回答を送っていただきました。参加者の年齢は「20代」が最も多く、担当業務では「水質、土壌関係の分析」が半数以上を占める結果となりました。また、講義内容についての設問では、講義1～3で85%以上の参加者が「大変理解できた」または「理解できた」と回答していました。また、講義4では「統計を学んだ

ことがなかったのでデータの取扱いと測定値の管理の講義は難しかった」といった声が聞かれました。

② 研修見学会

研修見学会を4年ぶりに開催することができました。2023年度は千葉県環境計量協会の主催で、首都圏環境計量協議会連絡会による合同開催となりました。全体では29社(41名)に参加をいただき、東環協からは7社(7名)が参加いたしました。

開催日：2023年9月22日(金)

見学先：「千葉県立房総のむら」、「(公社)航空科学博物館」、「成田市さくらの山」

③ 環境測定技術事例発表会

昨年度から引き続き、参加者全員が会場に集まり、対面形式で開催することができました。発表会当日は好天にも恵まれ、総勢72名の皆様にご参加いただきました。来賓には、(一社)日本環境測定分析協会、大阪環境測定分析事業者協会の皆様にご臨席をいただきました。

開催日時：2023年11月15日(水) 12:50~17:00

開催会場：アルカディア市ヶ谷「大雪」

参加者：72名(発表者6名、会員26社50名、協賛企業7社10名、来賓6名)

④ 技術研修会

『2023年度技術研修会』は昨年に引き続き会場参加型により開催しました。コロナ禍が明けたこともあり、今回は計64名と昨年を上回る多くの方にご参加いただきました。なお、来賓には東京都環境改善部、東京都計量検定所、(一社)日本環境測定分析協会から4名の皆様にご臨席を賜りました。

開催日時：2024年1月24日(水) 15:30~16:50

開催場所：アルカディア市ヶ谷「大雪(東)」

講演：「有機フッ素化合物(PFAS)に関する環境省の取り組み」

講 師：環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室
室長補佐 甲斐 文祥 様

概 要：「PFOS・PFOA等の概要」「水環境に関する取り組み」「更なる対応
について」という内容を中心に講演いただきました。

皆さんの関心が高いテーマであったため、大変多くの質問を
いただき盛況のうちに終了となりました。

参 加 者：64名(参加者 28社 52名、協賛企業 4社 8名、来賓 4名)

⑤ 技術交流

2023年9月21日に大阪環境測定分析事業者協会(大環協)が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し東環協からも交流講演を行い、技術交流を深めてまいりました。

⑥ 大環協主催による精度管理共同実験

精度向上を目的に、「精度管理共同実験」(主催:大環協)への参加を当協議会会員にも呼び掛けました。東環協からの参加会員数は5社でした。

(2) 業務関係

① 会員名簿

2023年8月に会員名簿を発行、会員及び都内自治体に配布しました。

② 新春賀詞交歓会

『2024年 新春賀詞交歓会』は参加者 78名で、昨年よりも多くの方にご来場いただき盛大に開催されました。来賓には、東京都環境局 環境改善部長 戸井崎 正巳 様、同大気保全課長 木立 真敏 様、東京都生活文化スポーツ局計量検定所 所長 戸澤 互 様、(一社)日本環境測定分析協会 会長 小野寺 明 様、同 副会長 清水 重雄 様にご臨席いただきました。

開催日時：2024年1月24日(水)17:00～

開催場所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

参 加 者：72名(会員 25社 56名、協賛企業 7社 15名、来賓 5名、環境省
随員 2名)

③ 首都圏環協連関連

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換を行いました。

1) 首都圏環協連委員会：3回開催

(2023年6月14日、8月8日、12月12日)

2) 2023年度 環境計量証明事業団体合同研修会

開催日：2024年2月13日(火) 13:30～16:30

開催場所：TKP 東京駅カンファレンスセンター 10階 10B会議室

テーマ：(1) 賃上げ・人材確保に関するセミナー

(2) 賃上げ・人材確保・価格改定に関する県単報告及び県単活動
トピックスの報告

参加団体：12団体 [首都圏環協連(1都3県)、北海道、福島県、群馬県、新潟県、長野県、大阪府、福岡県、横浜市]

④ 災害防止協定相互支援協定締結団体による意見交換会

2024年1月19日に大阪において大環協主催による災害防止協定相互支援に関する情報交換会が開催され、役員3名が参加し意見交換を行いました。

⑤ 親睦ゴルフ大会

首都圏環協連の合同親睦ゴルフ大会が2023年10月27日(金)に千葉県市原市にある千葉新日本ゴルフ倶楽部において4年ぶりに開催されました。

全体の参加者は21名、東環協からも5名参加いたしました。

⑥ 社内リソース活用セミナー&懇親BBQ

会員の皆様の日常業務改善の一助になるような情報として、社内に眠る重要なリソースである「名刺」についてセミナーを開催しました。

開催日時：2023年10月17日(火) 15:00～17:00

開催場所：両国ステーションロハスビル 3階 会議室

参加者：会員23名

はじめに、「名刺管理を始めるきっかけとその後について」というテーマで、東環協の木村副会長による講演がありました。その後 Sansan 株式会社の井上様より「名刺管理から、収益を最大化する」と題して同社が提供している名刺管理システムについて講演をいただきました。講演のあと、質疑応答や活発なディスカッションが行われました。

セミナー後は近くのバーベキュー会場に移りバーベキューを楽しみながら意見交換を行い、親交を深めることが出来ました

(3) 広報関係

① 東環協ニュース

東環協ニュースを 3 回発行しました。

第 182 号：2023 年 8 月 25 日

第 183 号：2023 年 12 月 23 日

第 184 号：2024 年 3 月 15 日

② ホームページ

ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月 1 回の更新を実施しました。

③ 都民計量のひろば（東京都計量検定所関連）

東京都では、11 月 1 日の計量記念日に都民の方々に楽しみながら計量への関心を高めていただくために「都民計量のひろば」を開催しています。

これまでの過去 3 年間はコロナ禍の影響により Wed 開催でしたが、2023 年度は久しぶりに恒例の新宿駅西口広場での開催となり、多くの方にご来場いただきました。

テーマ：メインテーマ「くらしと計量」

サブテーマ「計量の世界を楽しく探検しよう！」

開催日程：2023 年 11 月 1 日(水) 10:30～16:00

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主 催：都民計量のひろば実行委員会 [構成団体 東京都計量検定所、
(一社)東京都計量協会、東京都環境計量協議会、他計 18 団体]

④ 東環協メール情報サービス

電子メールによる情報提供を 16 件 (No.350～No.365) 実施しました。

(4) 官公庁その他に対する協力

① 「災害時アスベストばく露・飛散防止研修会」の実施

東京都環境計量協議会は、2020 年 9 月 10 日付で東京都と「災害時における石綿モニタリング調査に関する協定」を締結しています。

今回は東京都環境局の主催により「令和 5 年度 災害時アスベストばく露・飛散防止研修」が開催され、当協議会からは 12 社 21 名が参加いたしました。

開催日時：2023 年 10 月 31 日(火) 10:00～15:40

開催場所：都庁第一本庁舎 5 階 大会議室

開催方法：会場参加及びオンライン(Zoom ウェビナー)の併用

(研修内容)

1) 災害時における飛散防止マニュアル

及び災害時のアスベスト対策に係る協定について

講 師：東京都環境局

2) アスベストの露出状況調査について

講 師：(一社)建築物石綿含有建材調査者協会
副代表幹事 外山 尚紀 氏

3) 環境モニタリングについて

講 師：東京都環境計量協議会 会員企業
株式会社環境管理センター
ソリューション事業部 岩澤 寿男 氏

講演後、会場では「アスベストの露出状況の調査の方法」及び「環境モニタリングの方法」について実務研修が実施されました。

以 上

[第2号議案] 2023年度 収支決算報告承認の件

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

2024年度 事業計画（案）

1. 会議の開催

(1) 総 会

2024年5月8日(水)、アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」にて開催します。

(2) 理事会

事業活動に関する計画立案及び結果報告等のため、全役員による理事会を年6回程度開催します。

(3) 委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催します。

2. 事業活動

(1) 技術関係

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| ① 新任者教育セミナー | 6月7日(予定) |
| ② 研修見学会 | 未 定 |
| ③ 環境測定技術事例発表会 | 11月(予定) |
| ④ 技術研修会 | 2025年1月(予定) |
| ⑤ 技術交流
(大環協・環境測定技術事例発表会への参加) | 9月(予定) |
| ⑥ 精度管理共同実験
(大環協・精度管理共同実験への参加呼び掛け) | 11月(予定) |

(2) 業務関係

- | | |
|-------------------|-------------|
| ① 会員名簿の発行 | 8月(予定) |
| ② 新春賀詞交歓会 | 2025年1月(予定) |
| ③ 首都圏その他の連絡会議への参加 | 随時参加 |
| ④ その他(各種親睦会等) | |
| ・ゴルフ大会 | 未定 |
| ・その他 | 未定 |

(3) 広報関係

- | | |
|-------------------|-----------|
| ① 東環協ニュースの発行 | 年2回(予定) |
| ② ホームページの更新 | 原則、毎月1回 |
| ③ 「都民計量のひろば」への参加 | 11月1日(予定) |
| ④ 各種資料の配付、メールサービス | 随時実施 |

(4) 官公庁その他に対する協力

- ① 東京都計量検定所が行う講習会等への協力
- ② 東京都環境局が行う講習会、災害防止対策事業等への協力
- ③ (一社)日本環境測定分析協会が行う行事等への協力
- ④ その他

以上

[第4号議案] 2024年度 収支予算（案）審議の件

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

2024年度役員体制について

承認後の役員体制は、次のとおり予定しています。

任期：2024年5月総会后～2026年5月総会まで

	役職	氏名	会社名	備考
1	会長	平賀 積善	(株)環境管理センター	留任
2	副会長	木村 直樹	(一財)東海技術センター	留任
3	副会長	近野 良哉	いであ(株)	異動
4	理事	竹田 良平	ヒロエンジニアリング(株)	留任
5	理事	織間 康行	ムラタ計測器サービス(株)東京支店	留任
6	理事	村野 光男	環境リサーチ(株)	留任
7	理事	笹嶋 宏	(株)分析センター	留任
8	理事	大杉 一喜	ユーロフィン日本環境(株)	新任
9	理事	藤田 康男	(株)総合環境分析	新任
10	監事	小柳 伸彦	(株)環境技術研究所	留任
11	監事	石山 直樹	シグマジオテック(株)	異動

* 敬称略

東環協選挙管理委員会

東京都環境計量協議会 第47回通常総会 出席者名簿

2024年5月8日 17時00分より
於 アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」

来賓 (一社) 日本環境測定分析協会

参事 小林 秀司 様

No.	会 社 名	出 席 者 名	備 考
1	いであ(株)		
2	(株)エオネックス		
3	(株)環境管理センター		
4	(株)環境技術研究所		
5	(株)環境総合リサーチ		
6	環境リサーチ(株)		
7	(株)クレアテラ		
8	シグマジオテック(株)		
9	新日本環境調査(株)		
10	(株)総合環境分析 東京技術センター		
11	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
12	帝人エコ・サイエンス(株)		
13	(株)デイラボ		
14	(一財)東海技術センター		
15	(株)東京環境測定センター		
16	(株)日新環境調査センター		
17	(株)日本シーシーエル		
18	(株)日本総合科学		
19	日本物理探鑛(株)		
20	(株)日本分析		
21	ヒロエンジニアリング(株)		
22	(一財)広島環境保健協会		
23	(株)分析センター		
24	ムラタ計測器サービス(株)		
25	ユーロフィン日本環境(株)		
1	輝達商事(株)		賛助
2	ビーエルテック(株)		賛助
3	ラボテック(株) ラボテック東日本(株)		賛助
1	(一社)日本環境測定分析協会関東支部		一般

※総会開始時点における出席者

来 賓	1 名
正 会 員	25 社 35 名
賛助会員	3 社 5 名
一 般	1 社 1 名
計	30 社 44 名

委任状 (総会当日までに到着した分)

- ・エヌエス環境(株)・(株)オオスミ・(株)化学分析コンサルタント・(株)環境技研(板橋)・(株)環境技研(杉並)
 - ・(株)環境技術センター・(株)KANSO テクノス東京支店・クボタ環境エンジニアリング(株)・(一財)小林理学研究所
 - ・(株)サンコー環境調査センター・三葉化工(株)・成友興業(株)・中央建鉄(株)・(株)長大・東京都鍍金工業組合
 - ・(株)日本線路技術・日本環境アメニティ(株)・日本滌化化学(株)・パシフィックコンサルタンツ(株)
 - ・八千代エンジニアリング(株)
- 以上 20 社

第 47 回通常総会後の懇親会報告

総会終了後の 17 時 30 分から会場をアルカディア市ヶ谷 5 階「穂高（東）」に移して、恒例の懇親会が開催されました。会員企業 26 社(43 名)、協賛企業 4 社(7 名)、一般参加 1 社(1 名)、来賓 3 名と昨年よりも多くの方々にご参加いただきました。今回は来賓として、東京都環境局 環境改善部長 戸井崎 正巳 様、同 大気保全課長 名取 雄太 様、（一社）日本環境測定分析協会 参事 小林 秀司 様にご臨席いただきました。

初めに当協議会の平賀会長より挨拶があり、その後、来賓を代表して東京都環境局環境改善部 戸井崎部長からご挨拶を頂戴いたしました。続いて、東京都環境局環境改善部大気保全課 名取課長による乾杯のご発声で懇親会が始まりました。



平賀会長による挨拶



戸井崎部長による挨拶



名取課長による乾杯のご発声

『第 47 回通常総会懇親会挨拶』

東京都環境局環境改善部

環境改善部長 戸井崎 正巳 様



戸井崎部長

東京都環境局 環境改善部長の戸井崎でございます。

日頃より、東京都環境計量協議会の皆様方には都の環境行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本日は、東京都環境計量協議会第 47 回通常総会が盛会のうちに終了されましたこと、お喜び申し上げます。また、懇親会にお招きいただき、光栄に存じます。

年始に起きた能登半島地震から 5 か月が経ちましたが、被災地の一部では、まだ断水が続いているなど復旧の途上と聞いております。都においては、水道の復旧作業や避難所の運営のため職員を派遣しているほか、環境局としては災害廃棄物の処理の支援などを継続的に行っているところです。

これらの復旧作業、災害廃棄物処理においても課題となるのがアスベストです。貴協議会と東京都は、都内で、災害が発生した際に、倒壊建物からアスベストの飛散を防止するため、2020 年に協定を締結し、大気中の石綿を迅速にモニタリングできる体制を整備してきました。また、貴協議会には、区市向けの災害時のアスベスト対策に係る研修にも、毎年、講師として御講義いただくなど、ご協力いただき感謝申し上げます。

私ども環境改善部では、アスベスト対策のほか、快適な大気環境や良質な土壌・地下水の確保など、都民の健康と安全に直結する生活環境の改善に向けて、様々な事業を展開しております。近年注目されている有機フッ素化合物についても都内全域の地下水調査など対応を強化しているところです。

こうした事業を進めていくには、大気や水質等の実態を正確に把握する必要があり、信頼性の高い測定・分析が不可欠です。こうした点から、貴協議会の皆様の専門技術・知見が果たす役割は非常に重要でございます。都としても科学的知見に基づいた取組を着実に実施し、都民の健康リスクが最小化された快適で良質な都市環境を実現していく所存でございますので、引き続きご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、東京都環境計量協議会、並びに、会員事業者の皆様の益々のご活躍とご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

【懇親会の様子】

懇親会が始まると参加された皆様が用意された食事を召し上がりながら、お酒を酌み交わし、情報交換・名刺交換等が行われ、歓談は大いに盛り上がっていました。

懇親会も中盤に差し掛かったところで、今回協賛していただいた企業の皆様に壇上に上がっていただき企業の紹介をしていただきました。続いて、日環協の小林参事からご挨拶いただき、日環協関東支部事務局 吉田様からは今年度横浜市で開催されます日環協環境セミナーにつきましてご案内いただきました。



賛助会員 輝達商事様



賛助会員 ビーエルテック様



賛助会員 ラボテック様



賛助会員 日本コントロールシステム様



日環協 小林参事挨拶



日環協 吉田様による案内

また、今年度から新たに当協会の理事となった、ユーロフィン日本環境の大杉理事と総合環境分析の藤田理事より就任の挨拶を行いました。

ひとしきり紹介・挨拶も終わったところで再び歓談を楽しんでおりましたが、楽しい時間はあっという間に過ぎ、宴たけなわのなか近野副会長による中締めでお開きとなりました。



《懇親会の様子》



大杉理事 就任挨拶



藤田理事 就任挨拶



近野副会長 中締め

東京都環境計量協議会第47回通常総会懇親会 出席者名簿

2024年5月8日 17時30分より
於 アルカディア市ヶ谷 5階「穂高(東)」

来賓 東京都環境局環境改善部 東京都環境局環境改善部大気保全課 (一社) 日本環境測定分析協会	部 長 戸井崎 正巳 様 課 長 名取 雄太 様 参 事 小林 秀司 様
--	--

No.	会 社 名	出 席 者 名	備 考
1	いであ(株)		
2	(株)エオネックス		
3	(株)環境管理センター		
4	(株)環境技術研究所		
5	(株) 環境総合リサーチ		
6	環境リサーチ(株)		
7	シグマジオテック(株)		
8	(株)島津テクノリサーチ		
9	新日本環境調査(株)		
10	(株)総合環境分析 東京技術センター		
11	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
12	帝人エコ・サイエンス(株)		
13	(株)デイラボ		
14	(一財)東海技術センター		
15	(株)東京環境測定センター		
16	(株)日新環境調査センター		
17	日本エコテック(株)		
18	(株)日本シーシーエル		
19	(株)日本総合科学		
20	日本物理探鑛(株)		
21	(株)日本分析		
22	ヒロエンジニアリング(株)		
23	(一財)広島環境保健協会		
24	(株)分析センター		
25	ムラタ計測器サービス(株)		
26	ユーロフィン日本環境(株)		
1	輝達商事(株)		賛助
2	日本コントロールシステム(株)		賛助
3	ビーエルテック(株)		賛助
4	ラボテック(株) ラボテック東日本(株)		賛助
1	(一社)日本環境測定分析協会関東支部		一般

来 賓		3 名
正 会 員	26 社	43 名
賛助会員	4 社	7 名
一 般	1 社	1 名
計	31 社	54 名

2024年度 新任者教育セミナー報告

『新任者教育セミナー』は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていた昨年度は、会場参加とオンライン併用のハイブリッド方式で開催してきましたが、今年度は対面開催のみで行われました。本セミナーは、新任者の育成が業界の発展に欠かせないという観点から、毎年首都圏環協連（東環協、埼環協、神環協、千環協）が合同で、（一社）日本環境測定分析協会（以下「日環協」）との共催により開催しています。今回は、1都3県で72名の応募があり、東環協からは4社17名と多くの方にご参加いただきました。

セミナー後には、修了証授与式と名刺交換会、フリートークが行われました。

開催日時 : 2024年6月7日（金） 10:00～16:50
会場 : 砂防会館別館 シェーンバッハ・サボ-3階 会議室（六甲）
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 Tel 03-3261-8390
開催方式 : 会場参加
参加費 : 3,000円（当日の研修テキスト代、昼食費代含む）

スケジュール

- ・10:00～10:30 受付
- ・10:30～10:40 開会挨拶
- ・10:40～12:00 講義1 「環境計量業界で求められる職員像」
（一社）埼玉県環境検査研究協会 顧問 星野 弘志氏
- ・12:00～12:50 昼食・休憩
- ・12:50～13:50 講義2 「環境計量の基礎」
（一社）埼玉県環境計量協議会 理事 赤木 利晴氏
- ・13:50～14:00 休憩
- ・14:00～15:00 講義3 「化学分析の基礎」
（一社）埼玉県環境計量協議会 理事・技術委員長
（株式会社東京久栄）浄土 真佐実氏
- ・15:00～15:10 閉会挨拶
- ・15:10～15:30 修了証授与
- ・15:30～16:50 名刺交換会・フリートーク



司会 埼環協 佐藤副会長

開始時間の 10 時 30 分となり、埼環協の佐藤副会長の司会により、2024 年度新任者教育セミナーが対面開催でスタートしました。まずは、本セミナーは首都圏環協連合同開催である他、日環協関東支部共催の教育事業であることの報告がありました。続いて、セミナー参加者に対して、注意事項等の説明がありました。

その後本セミナーの主催者を代表して埼環協の吉田会長より開会の挨拶を頂戴した後、本日の最初の講義が始まりました。

埼環協 吉田会長の開会挨拶



埼環協 吉田会長

皆様おはようございます。お忙しい中たくさんお集まりいただきありがとうございます。先ほど司会からご案内がありましたように、日本環境測定分析協会様のご協賛をいただきまして、首都圏環協連の幹事県である埼玉県が今日は担当させていただきますので一日よろしく願いいたします。

今日は埼玉県からとっておきの講師の先生を準備しております。最初にご講演いただきます星野先生は行政の環境部門のトップ技術者としてご活躍さ

れ、退官後は埼玉県環境検査研究協会様の代表として分析を担う側の代表も務められ、両方の考えが分かっているというとても貴重な技術者の先生です。普段聞けないお話が伺えるのではないかと感じておりますので私も楽しみにしております。最後に、懇親会などございますので、星野先生ともコミュニケーションを取っていただけたらと思います。午後の部は、同じく埼玉県のベテランの技術者の浄土先生と赤木先生より分析や化学の基礎についてご講演いただきます。講演内容はもしかすると難しいものがあるかもしれませんが、ただ、今だけではなく、それを持ち帰っていただいて、何らかの形でこれからの仕事に反映していただくような機会になればと思っております。

何よりも大切なのは、先ほども触れましたけれども、終わった後に研修会に参加されている皆さんが意見交換をする場が設けられていますので、その中で積極的に皆さんと交流をし、何か一つでも持ち帰っていただけたらなと思っております。今日は一日長い研修になりますがよろしく願いします。

講義 1 (10 : 40 ~ 12 : 00)

「環境計量業界で求められる職員像」 講 師 : 星野 弘志氏



講師 星野 弘志氏

〔講義目次〕

1. 環境計量の意義とは
2. 幹部は若手職員に何を期待しているのか
3. 職業人に必要な三要素
4. さらなる理想を求めて
5. おわりに

〔講義概要〕

環境計量とは、環境中の特定の物質や特性を、全国統一的に決められた方法で定量し、比較可能な数値として表すことである。環境計量証明の役割の一つとして環境モニタリングは、「安全・安心」を確保するための必要ツール。環境対策は、「安全・安心」な状態にするためには、何が必要かを考え実行することである。その中で、幹部は若手職員に必要な心構えとして、お客様に信頼していただくこと、公正中立な立場で仕事に取り組むことを求め、また、仕事全体を把握し方法を決め、得た計量結果を的確に判断することが出来る力量などを求めていることを解説された。

講義では他にも、「職業を通じた学び」について、日常業務から広がる環境への学びの一例として、法令や基準の設定方法、分析原理や機器の構造、当該物質や項目に関わる環境問題や対策。さらなる学びとして資格取得や社会人進学などが紹介された。

講義 2 (12 : 50 ~ 13 : 50)

「環境計量の基礎」 講 師 : 赤木 利晴氏



講師 赤木 利晴氏

〔講義目次〕

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 環境計量とは | 5. 計量法と事業登録制度 |
| 2. 環境問題の歴史的背景 | 6. 国際規格 |
| 3. 最近の環境問題のトピック | 7. 資格取得 |
| 4. 環境関連法規 | 8. まとめ |

〔講義概要〕

環境計量の特徴として環境試料は多種多様である。例えば水質・土壌・大気試料は不均質な多成分でかつ様々な形態で存在している。対象物質の濃度範囲も広い。また、試料の代表性を確保することが難しく、経時変化のある多数試料を迅速に分析する必要性などがある。

環境分析技術者に求められることとして、試料の本質、実態と分析目的を明確に把握して適切な方法を選定する能力。操作の過程で生じる問題点の発見及びその対策、解決する知識と技能。分析機器の特徴、欠点など性能を熟知し使いこなせる技術。分析データを評価、管理する能力。プロ意識をもって日常的に訓練、自己研鑽が求められると解説があった。

講義では他にも、最近の環境問題のトピックの紹介や、環境分析に関連する主な資格として、環境計量士、技術士、公害防止管理者、臭気判定士、作業環境測定士、環境測定分析士などの資格が紹介された。

講義3 (14:00~15:00)

「化学分析の基礎」

講師：浄土 真佐実氏



〔講義目次〕

1. サンプルング
2. 分析操作
3. データの取り扱い

講師 浄土 真佐実氏

〔講義概要〕

サンプルングにおいて重要なことは、対象全体の平均値や一定の範囲からの逸脱、偏り、変動の把握を目的としても、標本の代表性に問題があれば、試験室で精度の良い分析操作を行っても採取試料の質が悪ければ意味がない。講義では、サンプルングの手順として、調査目的、計画の作成、水質・大気・土壌・底質等の容器の各種準備やサンプルングの注意点が解説された。

分析操作では、定量分析、重量分析、容量分析、機器分析などの特徴や説明があった。また、分析操作に起きた不具合を見直し検証、改善した事例が紹介された。具体的には、試験室の清浄化、試薬と標準溶液、試薬に用いる水、化学分析用器具、試料の前処理法などを見直した結果、改善されたと紹介された。

その他の講義では、データの取り扱いや分析技術者のモチベーションとモラルについて解説された。

閉会及び修了証授与式（15：00～15：30）

講義終了後、東環協の平賀会長から閉会の挨拶がありました。続いて、県単ごとに分かれて修了証授与式が執り行われました。

東環協 平賀会長の閉会挨拶



東環協 平賀会長

皆さん、長い時間お疲れ様でした。講師の3名の方、非常に良い講義だったと思います。ありがとうございました。皆さんに質問があります。環境六法を読んだことありますか？読んだことない方は一度目を通してみてください。環境基本法をはじめとする環境行政、環境法令の基礎が書いてあります。ただ、付表、別表などを参照することが多くて、非常にわかりづらいということがあります。皆さんはわからないことがあれば、今はインターネットやAIなどで簡単に調べることが可能だと思いますが、そうゆうもの

にも興味を持ってみてください。

今日は分析系、フィールド調査系、総務系や営業系の皆さんいろんな方がこの場に参加されていると思います。これはすごく重要なことで、他の部署の仕事にも興味を持ってください。例えば分析者だからといって、フィールド調査を知らないのではなく、フィールド調査を知ってそれを分析に役立ててください。こういったことを考えながら皆さんが前に進んでいく、環境業界が明るいものになっていくのだと思います。

皆さんの中の意識を変えることによって、この環境業界が変わっていきますので、皆さん、何卒よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



修了証授与式 I



修了証授与式 II

名刺交換会 フリートーク（15：30～16：50）

修了証授与式の後、会場にテーブルを設置して名刺交換会を行いました。入社間もない参加者にとっては貴重な名刺交換会の機会であり、参加者間での活発な意見交換が行われました。また、講義内での質問時間も限られていたため、講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見られました。予想以上に盛り上がった名刺交換会の時間もあっという間に過ぎ、千環協 津上会長の一本締めでお開きとなりました。



乾杯 千環協 増田会長



名刺交換会 I



名刺交換会 II



名刺交換会 III



名刺交換会 IV



一本締め 千環協 津上会長

大環協環境測定技術事例発表会 交流講演

9月20日（金）に大阪環境測定分析事業者協会主催の第40回環境測定技術事例発表会が開催され、東環協からの交流講演として、ムラタ計測器サービス株式会社の坂間将純氏による「上層気象調査におけるドローンの活用検討」という演題での発表が行われました。

また、当日の発表プログラムは、下記のとおりでした。



発表の様子

ムラタ計測器サービス 坂間氏

【特別講演】

「緊急時の地下水活用とレジリエンス強化」

大阪公立大学 教授 遠藤 崇浩

【事例発表】

第1部

「飲料水・環境水のPFAS分析及びの結果について」

株式会社総合水研究所 宮田 雅典

「カドミウムを使用しない窒素成分分析法の開発と実試料分析への応用」

ビーエルテック株式会社 高橋 のどか

第2部

「AI画像認識を使用した交通量調査の試み」

ダイネツ環境リサーチ株式会社 上原 貴浩

「全窒素流れ分析法で排出されるカドミウム含有排液処理方法の検討」

株式会社片山化学工業研究所 串木 あずみ

第3部

「灰化温度の違いによるバイオマス燃料灰の元素挙動について」

中外テクノス株式会社 野尻 優音

「上層気象調査におけるドローンの活用検討」

ムラタ計測器サービス株式会社 坂間 将純（東環協交流講演）

「令和5年度 大環協共同実験結果報告」

株式会社日環サービス 原口 素広

「環境計量証明事業実態調査」報告会&懇親 BBQ

9月25日(水)に一般社団法人日本環境測定分析協会の協力のもと、5年に一度行っている「環境計量証明事業実態調査」についての報告会及びフリーディスカッションを開催しました。

報告会の後には、会員の皆様の懇親を目的としたBBQを開催しました。

開催日時：2024年9月25日(水)

開催場所：①報告会(15:00~17:00) ふれあい貸会議室 秋葉原 No. 53

参加者：16社 28名

：②懇親BBQ(17:00~20:00) 両国BBQDAYZ

参加者：16社 29名

プログラム：

15:00~15:10 開会挨拶 東環協 会長 平賀 積善

15:10~15:50 報告会「環境計量証明事業実態調査」

(一社)日本環境測定分析協会 会長 小野寺 明 氏

(休憩 10分)

16:00~16:45 フリーディスカッション

座長 東環協 副会長 木村 直樹

パネリスト 日環協 会長 小野寺 明 氏

16:45~16:55 閉会挨拶 東環協 近野副会長

<懇親会場へ電車移動>

17:30~20:00 懇親会 (BBQ)

東環協 平賀会長の開会挨拶

東京都環境計量協議会の平賀でございます。

今年も昨年に引き続き、会員の皆様への情報提供と会員交流を目的とした報告会及び懇親行事を企画しました。

本年度は、一般社団法人日本環境測定分析協会が5年に一度行っているアンケート「環境計量証明事業実態調査」について小野寺会長から報告していただきます。「環境計量証明事業実態調査」の内容については、従来から継続する設問に加えて、社会ニーズの多様化・高度化に合わせた設問も追加しております。アンケートの集計結果からは「今、環境測定・分析業界に何が起きているのだろう」といった全体像を大まかに把握することが出来るため、本日参加している皆様の活動のヒントになればと考えております。

今回の報告を踏まえてフリーディスカッションでは、若い人からベテランの方、いろいろな立場の方が参加されておりますので、分析業界に思うことなど皆さんと意見交換が出来ればと思っております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【報告会・フリーディスカッション】

一般社団法人日本環境測定分析協会 小野寺会長より 2023 年度環境計量証明事業者（事業所）実態調査の報告がありました。

アンケートの結果によれば、「環境計量証明の分野別登録事業所数」として、濃度の登録は 89.8%、音圧レベル・振動加速レベルの登録はそれぞれ約 50%、特定濃度は 7.7%でした。従事者の平均年齢は 47.3 歳。2008 年調査では 41.3 歳、2018 年調査では 45.7 歳とさらに高齢化が進んでいることが見て取れました。

「事業者当たりの各種資格保有者数」は、環境計量士は 5.90 人、作業環境測定士 5.75 人など集計表で説明されました。前回調査より 1 名以上増加した資格は技術士の 4.64 人、今回から集計した建築物石綿含有建材調査者の資格所有者は 1.92 人という結果でした。

「事業の現状と将来展望」の報告で、特に問題にする課題というアンケートでは人材の確保、人材の育成と人材関連の回答が 50%を超過し、かつ前回調査の 30.4%から大幅増でした。それに伴い今後の事業展開としては人材の確保が重要であると 37.8%の事業者が回答していました。

「日環協の実務研修に期待すること」というアンケートでは、環境分析の基礎教育（73.7%）と最も高く、化学基礎技術（61.9%）が次に高く、手分析、機器分析技術の実務研修のニーズも 40%前後の回答がありました。

その他では、「分析・測定設備と精度管理」や「行政への要望・対応」などが報告されました。

報告会のあとは、フリーディスカッションが行われ、参加者全員で活発なディスカッションが行われました。

【懇親会】

場所を両国に移して昨年同様に屋外での BBQ を開催しました。

BBQ に舌鼓を打ちながら、和やかな雰囲気の中で会員の皆様が懇親することができました。



報告会



フリーディスカッション



懇親会-1



懇親会-2

災害時相互応援協定への加入について

当協議会は、災害等の非常時に事業継続や自治体との協定の履行等に関して相互に応援を行うことを目的とし、(一社)愛知県環境測定分析協会、(一社)神奈川県環境計量協議会、(一社)埼玉県環境計量協議会、堺市環境計量協議会、(一社)福島県環境測定・放射能計測協会、横浜市環境技術協会の6団体*により平成31年に発足した『災害時相互応援協定』に令和6年5月31日に追加加入しました。

『災害時相互応援協定』は今回の東環協加入により東北地方1団体、関東地方4団体、中部地方1団体、関西地方2団体の計4地方・8団体の参加となりました。複数の地方の団体が参加しているため、どの地方で災害等が発生した時にも応援体制を構築することができます。

今後は各協定団体と協力し、災害等の非常時にも事業継続の一助となるよう活動してまいります。東環協会員のみなさまのご理解、ご協力よろしく願いいたします。

※令和2年に大阪環境測定分析事業者協会が参加

2024年度 役員の役割分担

2024年度は、役員・委員が次のとおりの役割分担で事業を進めて参ります。
何とぞ宜しくお願いいたします。

	平賀	木村	近野	大杉	織間	笹嶋	竹田	藤田	村野	石山	小柳	事務局
【全体運営】												
役員会招集	◎	○	○									○
役員会議事録				○	○	◎		○			○	
会員名簿管理												◎
資料作成管理		○	○									◎
ホームページ管理		(○)	(○)	○	○	○		○	◎			
東環境ニュース			○	○				○	◎		○	
総会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
懇親会全般	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賀詞交歓会	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
会計監査	○	○	○							○	○	◎
【教育研修】												
新任者教育セミナー	○	○	◎	○				○				○
技術研修会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事例発表会	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共同実験・その他セミナー		○	◎	○	○			○				○
【対外交流】												
首都圏連絡委員会	◎	○	○			○			○		○	○
研修見学会				○				○	○		◎	
懇親会(ゴルフ、その他)	○	○	○		○					◎		○
大環協事例発表会	○	○	○		◎							
災害時相互支援協定締結団体	◎	○	○			○						
【行政対応】												
官庁関係挨拶	◎	○	○									
都民計量のひろば		○		○	◎	○				○		
石綿モニタリング	◎	○	○			○						

委 員 会	大 中	関 島	中 村
技術委員会	○		
広報委員会		○	
業務委員会			○

◎：主担当

○：担当

新役員挨拶

2024年度の総会において、2名の新役員が承認されました。新たな役員は以下のとおりです。

- ・理事：大杉 一喜 ユーロフィン日本環境(株)
- ・理事：藤田 康男 (株)総合環境分析

新しく役員になられました方々に今後の抱負を含めてご挨拶をいただきました。



大杉 一喜 理事 [ユーロフィン日本環境(株)]

第47回通常総会で新たに理事に選任されましたユーロフィン日本環境株式会社の大杉でございます。

2023年より広報委員として活動してまいりましたが、この度理事を務めさせていただくことになりました。若手人材の育成やコスト高への対応等、環境計量業界が抱える諸課題について正面から向き合う所存です。微力ではございますが、東京都環境計量協議会と会員の皆様のお役に立てるよう、精一杯尽力させていただきます。

ご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願いいたします。



藤田 康男 理事 [(株)総合環境分析]

第47回通常総会で新たに理事に選任されました株式会社総合環境分析の藤田康男でございます。前期中途から技術委員として活動してまいりましたが、この度理事として務めさせていただくことになりました。

理事としての仕事についてはまだわからないことが多いですが、環境計量業界の発展に寄与できるように精一杯活動していきたいと考えております。長く続いたコロナ禍も明け活動しやすくなりました。様々な行事を通して、微力ながら東京都環境計量協議会の発展と役員・会員、および関係者の皆さまのお役に立てるよう精一杯努めさせていただきます。

ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

関係機関・団体の動き

2024年10月現在、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです [東環協ニュース第184号以降分]。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

・首都圏合同・新任者教育セミナー	6月 7日	砂防会館別館
・2024年度第1回委員会	6月 28日	(株)太平洋コンサルタント 本社
・2024年度第2回委員会	8月 16日	Web 開催
・2024年親睦ゴルフ大会	10月 25日	南総カントリークラブ
・2024年度第3回委員会	12月 3日	未定
・県単合同研修会	2025年 2月	場所日時未定

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

・2024年度通常総会	5月 13日	横浜テクノタワーホテル
・春季ゴルフ大会	6月 6日	小田急藤沢ゴルフクラブ
・環境研究合同発表会	6月 12日	川崎市役所 及び Web 配信
・親睦地引網大会	8月 3日	鵜沼海岸
・分析技術ミーティング	8月 23日	横浜市金沢産業振興センター
・事例発表会	2025年 1月 30日	横浜市金沢産業振興センター

○ 千葉県環境計量協会

・2024年度通常総会	4月 19日	ホテルプラザ菜の花
・技術発表会+技術者フォーラム	11月 22日	千葉県経営者会館

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

・2024年度通常総会	5月 24日	THE MARK GRAND HOTEL
・県民計量のひろば	11月 1日	TKP プレミアム大宮
・新春講演会・研究発表会	2025年 1月 31日	未定

○ (一社)日本環境測定分析協会

・2024年度通常社員総会	5月 28日	霞山会館
・50周年記念式典・祝賀会	5月 28日	霞山会館YY
・環境セミナー全国大会	9月 26日	
	～27日	パシフィコ横浜
・経営セミナー	11月 8日	ANA クラウンプラザホテル神戸

東環協からのお知らせ

○ 2024 年度 主要行事

- | | | |
|-----------------------------|-----------------|--|
| ・ 2024 年度通常総会 | 5 月 8 日 | アルカディア市ヶ谷 |
| ・ 大環協環境測定技術事例発表会交流 講演 | 9 月 20 日 | 大阪産業創造館 |
| ・ 「環境計量証明事業実態調査」 報告会&懇親 BBQ | 9 月 25 日 | 報告会：ふれあい貸会議室
秋葉原 No. 53
BBQ : 両国 BBQDAYZ |
| ・ 災害時アスベストばく露・飛散防止研修会 | 10 月 16 日 | 都庁 及び Web 配信 |
| ・ 都民計量のひろば | 11 月 1 日 | 新宿駅西口広場 |
| ・ 環境測定技術事例発表会 | 11 月 20 日 | アルカディア市ヶ谷 |
| ・ 技術研修会、賀詞交歓会 | 2025 年 1 月 21 日 | アルカディア市ヶ谷 |

○ 事務局からのお知らせ

- ・ 現在の会員数 (2024 年 9 月 30 日現在)

正会員	58 社		
賛助会員	20 社	合計	78 社

○ 編集後記

「東環協ニュース(第 185 号)」が完成しましたので皆様にお届けいたします。本号は 5 月に行われました通常総会及び本年度の役員体制、その他 9 月までに実施された研修会等を中心に記事を掲載しました。通常総会を以て東環協も新体制となりましたので今まで以上に皆様のお役に立てる組織として邁進する所存でございます。今後とも会員の皆様のご協力をお願い致します。

今回から年 2 回発行となり回数は減りましたが、その分内容はボリュームが増えていますので読みごたえがあると思います。ぜひ隅々までご覧になってください。

なお、本年 11 月には環境測定技術事例発表会が、来年 1 月には技術研修会、賀詞交歓会の開催が予定されています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

LC/MS用溶媒

PFOS
PFOA
PFHxS

の保証を追加!!

特長

金属不純物(14種)を保証*
日本薬局方の試薬規格に適合
従来の保証内容を踏襲。UHPLCシステムに最適

品目	容量	日本薬局方 適合	金属(14種) 保証	PFAS 試験適合性
アセトニトリル	200mL、1L、3L	○	○	○
蒸留水	200mL、1L、3L		○	○
メタノール	200mL、1L、3L	○	○	○
2-プロパノール	200mL、1L、3L	○		



*金属(14種) : Ba, Ca, Cd, Co, Cr, Cu, Fe, K, Mg, Mn, Na, Ni, Pb, Zn

関連
商品

認証標準物質
(CRM)

製品番号	メーカーコード	製品名	容量
49922-34	PFAS-3PAR	有機フッ素化合物混合標準液(3種) (L-PFOS, PFOA, L-PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL
49922-35	MPFAS-3ES	有機フッ素化合物混合内部標準液(3種) (M8PFOS, M8PFOA, M3PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL



PFAS分析に最適な超純水が 装置から直接採水できます

- 今お使いの超純水装置では PFOSや PFOAが
検出されてしまってブランク水に使えない
- PFOS/ PFOAフリー超純水を購入して
使うのはコストがかかるし、面倒だ

…こんなことでお困りの分析者の方へ

エルガ・ラボウォーターの
PURELAB Chorus 1
Analytical Research なら
そのまま使えます



超純水中の PFOS、PFOA、PFHxS の分析例

	PURELAB Chorus 1 水
PFOS	<DL(0.02 ng/L)
PFOA	<DL(0.02 ng/L)
PFHxS	<DL(0.02 ng/L)

分析：株式会社アクアパルス（2022）

試験方法：

PFOS、PFOA：令和 2 年環水大発第 2005281 号 / 環水大土発第 2005282 号
付表 1 固相抽出 IC-MS/MS 法

PFHxS：令和 2 年環水大発第 2005281 号付表 1 準用

エルガ超純水装置は採水口フィルターからの
コンタミの心配がありません



より詳細な情報をご希望の方は下記までお問い合わせください。また、評価用サンプル水、デモ機のご依頼は輸入元セナーアンドバーンズ株式会社まで

製造元

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社

エルガ・ラボウォーター事業部

〒108-0022 東京都港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー

e-mail: jp.elga.all.groups@veolia.com

http://www.elgalabwater.com

ELGAは Veolia Water の実験室用水の国際ブランド名です。PURELABは ELGA LabWater の商標および技術です。【禁無断転載 複写】

輸入元

S-VANS セナーアンドバーンズ株式会社

〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一綜合ビル

TEL: 03-5708-7300 FAX: 03-5708-0151 <http://www.s-vans.com>

札幌営業所 TEL: 011-823-2250 神戸営業所 TEL: 078-331-7292

北九州営業所 TEL: 093-533-5371

高圧ガス工業の標準ガス

高圧ガス工業は環境測定のお手伝いに徹し貢献していきます
標準ガスは、様々な用途で使用されています。大気測定から煙筒、排気ガス、医療現場と幅広いユーザー様に支持を受けています

Standard Gas

◆ラインナップ

- ・ JCSS標準ガス 1級、2級、零位
- ・ 一般標準ガス
- ・ 医療機器校正用標準ガス

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類 : 3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金 : W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力 : 14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ



High Purity Gas

◆ラインナップ

- ・ 高純度アルゴン UP1 99.9999 % UP3 99.999 %
- ・ 高純度窒素 UP1 99.99995 % UP3 99.9995 %
- ・ 高純度水素 UP1 99.99999 % UP2 99.9999 %

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類 : 3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金 : W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力 : 14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ

Pressure Regulator

◆特長

- ・ 理化学機器に特化した、高品位の圧力調整器で、ガスを安定した圧力と流量で供給できるよう設計されています

◆スペック

- ・ HP-1 : 1段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・ HP-2 : 2段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・ Bs/ステンレス製



高圧ガス工業株式会社

ガス開発部 特殊ガス課

<http://www.koatsugas.co.jp>

東京事務所 東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階
滋賀高圧ガス流通センター 滋賀県東近江市五個荘川並368番地

TEL 03-3595-3122
TEL 0748-48-5933

お客様各位

平素はエルメックス商品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

ELMEX Post は、微生物検査ご担当者様宛に、弊社商品の発売や仕様変更、セミナー・学会・展示会、その他関連する情報を提供する目的で発信しています。本紙が適切でない部署に配信されている場合は、適切な部署へ転送下さいます様よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 水質汚濁に係る環境基準が変更されます ◆◆◆

大腸菌群検査から特定酵素基質寒天培地による大腸菌検査へ

環境基本法第16条第1項「水質汚濁に係る環境基準について」の一部改正

令和3年3月の「水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の見直しについて(第2次報告案)」を受け、生活環境項目環境基準において、よりふん便汚染の指標性が高い大腸菌数を新たな衛生微生物指標とし、大腸菌数の測定には特定酵素基質寒天培地による検査法が適当とされました。

特定酵素基質 5-ブromo-4-クロロ-3-インドリル-β-D-グルクロニド(X-GLUC)を含む、当社のアガートリコロールが大腸菌数検査に使用できます。

〈検査方法〉

- ①滅菌した密閉できる容器に採水
- ②メンブランフィルターで検水を吸引ろ過
- ③ろ過したメンブランフィルターをアガートリコロール培地に密着させ、倒置し培養
- ④培養後青色のコロニーを数える

〈大腸菌数の環境基準〉(予定)

水道1級	100CFU/100mL
水道2級	300CFU/100mL
水道3級	1000CFU/100mL
水浴(プール等)	300CFU/100mL
自然環境保全 人為的なふん便汚染が極めて少ないと考えられる地点 および自然公園等に指定されている海域の河川・湖沼	20CFU/100mL

環境省から上記命令等の適用は、令和4年4月1日の予定です。

Pro-media *PM*

トリコロール

大腸菌群・E.coli 同時検査用

ラウリル硫酸 Magenta-GAL・X-GLUC 寒天培地

透明な培地の上に E.coli は青く、大腸菌群は赤く発色。判定が簡単にできます。



〈使用方法〉

1袋(7.85g)を200mLの精製水、または39.3gを1000mLの精製水に加え、加温溶解するか、オートクレーブ滅菌を行う。

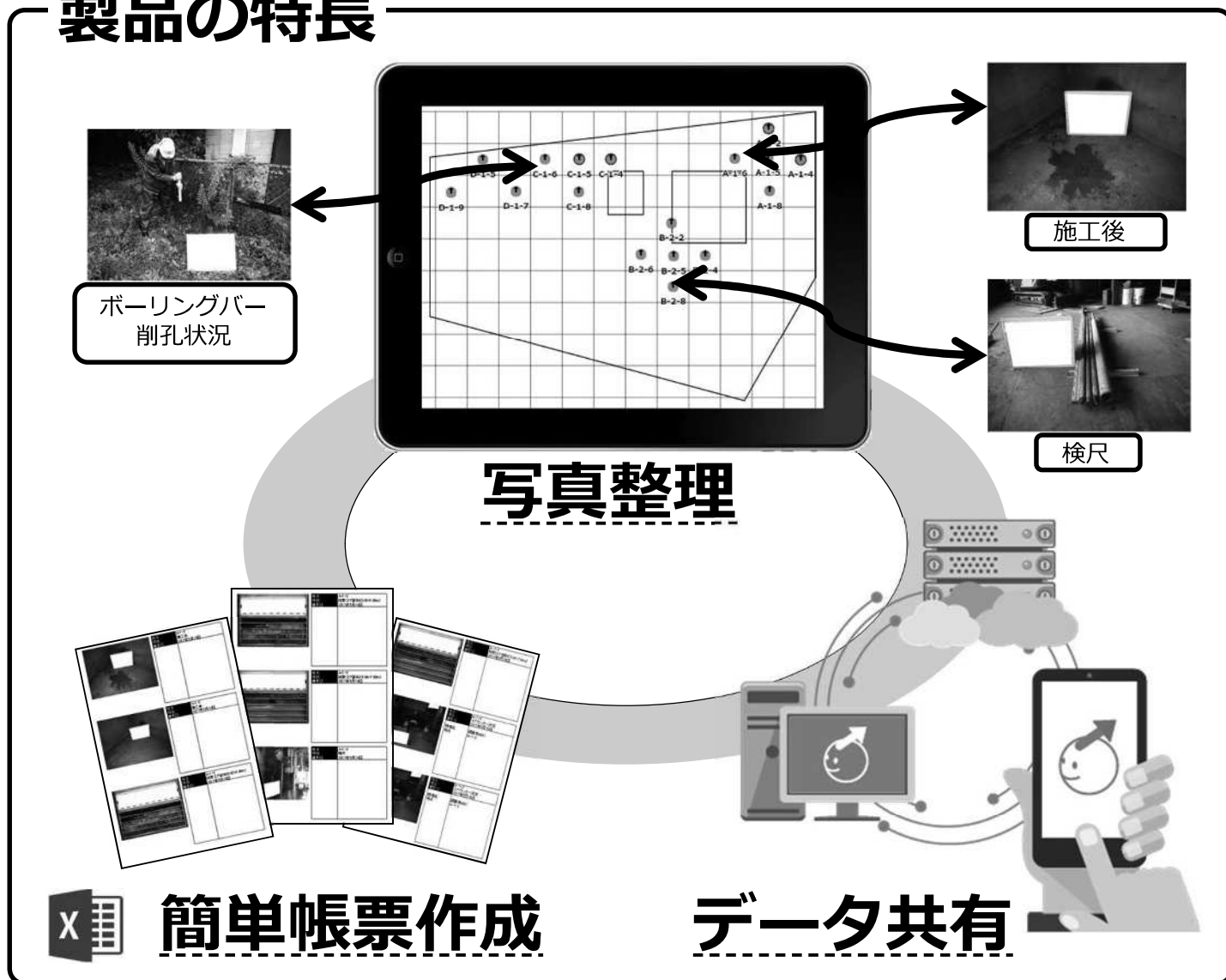
(加温溶解した培地は当日中にご使用ください)

品名	Pro-media アガートリコロール(顆粒)	
コードNo.	XMA-01N	XMA-400
入数	7.85g/袋×40	400g/ボトル
価格(税別送料込)	¥17,000	¥21,300

---- カタログ・サンプル 要求書 ---- Fax: 03-3831-9829 ----

送付先をご記入ください		お気軽にお問合せください アガートリコロール <input type="checkbox"/> カタログ希望 <input type="checkbox"/> サンプル希望
御社名	e-mail	
〒 ご住所	都道府県	
ご担当者名	TEL	
ユーザー様名	エルメックス商品仕入れ先(業者名) 東京科研	

製品の特長



タブレットを現場で活用すると…???

- ✔ 地歴調査の現地踏査写真整理業務、工数80%削減！
- ✔ 土壌汚染状況調査の写真整理業務、工数50%削減！
- ✔ 現場管理者が調査進捗状況をリアルタイムに確認可能！
- ✔ 作業員が試料採取済み箇所を瞬時に把握！

■採用実績(五十音順)

株式会社環境管理センター、帝人エコ・サイエンス株式会社、他



■製品のお問い合わせ

日本コントロールシステム(株)

<http://www.nippon-control-system.co.jp/>

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F

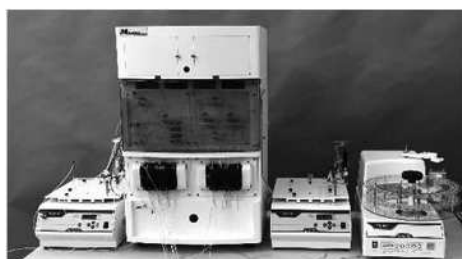
TEL : 03-3443-5081 (ピクタム担当)

MAIL : pictum@nippon-control-system.co.jp

ビーエルテックの自動化学分析装置

BLTEC 新型オートアナライザー「MiSSion」 ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 原理は、気泡分節型連続流れ分析法 (CFA)で計量証明機関で多くの実績があります。
- 3 **ふっ素、シアン、フェノール類**の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 **全窒素全りん**のオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、**オートスタート機能**、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102、環境省告示対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。



MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

全自動酸化分解前処理装置 DEENAシリーズ

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます (オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60
(50mlバイアル 60本掛け)

連続流れ分析法 (CFA法) を用いた、酸添加加熱分解装置AATM (アトム)

特長

1. 液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2. 気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3. 土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で測定できます。



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル 2F
TEL: 06-6445-2332 FAX: 06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F
TEL: 03-5847-0252 FAX: 03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL: 0940-52-7770 ※FAXは本社へ

測定精度の向上
人的エラーの解消
前処理時間の短縮
自動化、省力化・・・

全て解決！

メトローム イオンクロマトグラフ



930 IC 本体

+



858 サンプルプロセッサ
+ 800 ドジーノ (電動ビュレット)

+



940 IC 本体



942 拡張モジュール



ろ過デバイス
限外ろ過



透析デバイス
ダイアリシス



中和・除去デバイス
中和 / 金属除去



濃縮・除去デバイス
濃縮 / カラムスイッチング
/ マトリックス除去

メトローム 自動前処理システム Metrohm Inline Sample Preparation (MISP) は、手作業でおこなっていたイオンクロマトグラフのサンプル前処理を完全自動化できます。

MISP は、メトローム開発したイオン分析のための自動前処理手法です。マトリックスの除去、濃縮、希釈、pH 調整、中和等の作業と時間のかかる作業を完全自動化します。前処理工程を改善するとともに、分析精度の向上にも有効です。

イオンクロマトグラフィの原理からトラブルまでご隠居さん達が楽しく解説する大人気コラム「ご隠居達のIC四方山話(よもやまばなし)」。ウェブサイトに掲載中！

IC 四方山話



 Metrohm

デモやサンプルテストもお気軽にお問い合わせください。
e-mail でのお問い合わせ: metrohm.jp@metrohm.jp

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センター アネックス9階 TEL: 03-4571-1744 (IC部) FAX: 03-3766-2080
大阪支店 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-1-9 淡路町ダイビル5階502C TEL: 050-4561-3140 FAX: 06-6232-2312
URL <https://www.metrohm.jp>